

かかしのまちの ミニ・マガジン

月刊 Monthly Local Magazine : Kaminoyama

かみのやま

第251号 2022年3月



「上山城」からのたより 初春 第152便
上山城

連載◆わがロードバイク・ライフ 最終回
黒森 鋼

わが町再見『城廻り』シリーズ③ 本丸-3
鎌上 宏

連載◆猫と歩けば 第30回
うめつ ちぎり

連載⑨ 私の本棚
新寺 登

連載 描いていく、生きていく ⑦
朝日 迎

いったい何だろう？ (下)
齋藤 昌宏

連載エッセイ かんごし通信 (29)
えも たくみ

新連載◆竹のようにしなやかに (1)
大武 芳子

随想 りんごで育てた豚肉を食べながら
佐藤 藤三郎

「表紙のことば」 竹内敏夫：21頁

窮屈な休憩室◆上山藩の幕末 54：22頁

「上山城」からのたより 初春・第152号

【常設展示室から】抽選で景品が当たるクイズ上山城探検を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。

先月初旬まで上山城では上山ゆかりの画家の作品を紹介した企画展「上山城収蔵絵画展」を開催していました。

「絵画」と聞くと、「難しすぎて初心者の中にはムリ〜！」と拒絶反応を示す方が少なくないように思います。しかし、これは私の持論ですが、絵画鑑賞で一番大事なことは、絵画への知識・熱意の有無ではなく、その絵を一目見てどう感じ・考えたか、つまり、鑑賞者各々の「ファーストインプレッション」(第一印象)であると思います。「この絵は何となく好きだな〜」「なんか迫力あるな〜」とか、そんなものでいいのです。もしかすると、「そんな鑑賞の仕方はけしからん！」なんて思っている人がいるかも知

れません。そう思いの方には、そういう「狭い」考えが、その世界を衰退に追いやる最大の原因になりますよと伝えたいものです。知識・熱意を問わず様々な人をファンに取り込むことは、その世界を発展させるために大事なことだと思います。

さて、偉そうな持論を述べてしまいましたが、そんな軽い気持ちでご覧いただきたい絵画を一点ご紹介いたします(掲載画像をご覧ください)。

それは、江戸時代、上山藩主を務めた松平信宝(藩主在位期間…天保二(一八三一)〜



松平信宝作「蝶に猫図」(上山城収蔵資料)

「ファーストインプレッション」を大事に生きていくと、自身の世界が広がりますし、また、人生も楽しいと思えますよ!

上山藩主松平信宝作「蝶に猫図」

(公財)上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

文久二(一八六二)が描いた日本画です。見ての通りチョウチョを眺める猫の後ろ姿が描かれています。この作品についてみなさんはどう感じ・考えましたか。ちなみに私は、この作品を一目見たとき、「猫、めっちゃカワイイ! 企画展の展示品に採用決定!」と心の中で叫んでしまいましたね…。

知識は後からつけても手遅れではありません。こういった「ファーストインプレッション」を大事に生きていくと、自身の世界が広がりますし、また、人生も楽しいと思えますよ!

内科・循環器内科
医療法人 長清会

長岡医院

理事長 長岡 迪生
院長 櫻井 清陽

診療時間/平日9:00-12:30 14:00-18:00
休診日/日曜・祝日・木曜日
上山市沢丁9番13号 TEL.672-0308

泌尿器科・皮膚科

山口クリニック

院長 山口 寿功

診療時間: 平日9:00-12:30 14:00-18:00
水曜・土曜: 9:00-12:30
休診日: 日曜・祝日・水曜午後・土曜午後
上山市四ツ谷 1-6-35 TEL677-0050

原田眼科医院

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	●	○
14:00~17:30	●	●	●	●	●	●	●	○

木曜・土曜 12時まで / 休診日: 日曜・祝日
上山市十日町 9-2
023-672-0008

永田歯科医院

Nagata Dental Clinic

診療時間 AM 9:00 ~ PM 1:00
PM 2:00 ~ PM 6:00
休診日 日曜・祝日・木曜
上山市元城内 3-62
672-0215

3月 湯の涌、夢の涌、人も湧く
ワクワク温泉城下町
かみのやま

リナワールド 2022シーズンオープン!

3月12日(土)・13日(日)プレオープン
3月18日(金) グランドオープン

※新型コロナウイルス感染状況や降雪等の天候により、変更となる場合があります。

問合せ: リナワールド
TEL.023-672-1614

(一社)上山市観光物産協会
023(672)0839
http://kaminoyama-spa.com

♥愛車に Make-upを……

鈑金・塗装・車検

〜承ります〜

東北運輸局長認証工場

創業44年 有限会社 遠藤ボデー

〒999-3122 上山市仙石1121-1
TEL 023-672-7185 FAX 023-672-7167

メモリアルホーム鶴脛

各宗・総合葬祭

(株)マルシン葬祭社

寝台車(霊柩)・ワゴン・マイクロバス

上山市久保手4005の10
023-672-4242
023-672-4470
E-mail e-taishin@if-n.ne.jp

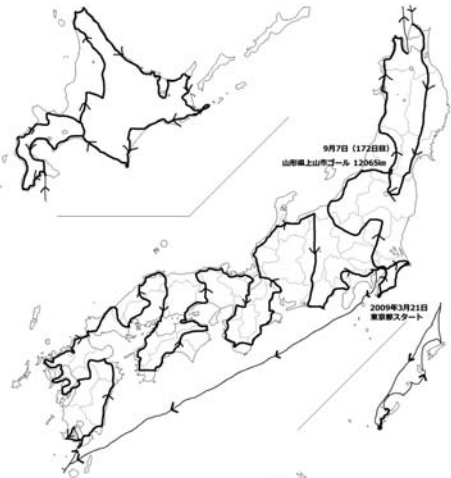
連載・わがロードバイク・ライフ

黒 森 鋼
(上山市在住)

《最終回・第83回》わがロードバイク・ライフ

二〇〇九年九月七日(一七二日目)二本松市→山形県上山市 一五〇km 総走行距離二二〇六五km

最終日になるかもしれない朝。地図を開いて距離を指で測ると一三〇km以上だ。山形に入るには峠を越えなければならぬ。行けたら行くくらい軽い気持ちで出発する。国道四号バイパスは片側二車線。前方でハザードをつけて渋滞していた。なんだろうと思って進むと、追い越し車線に逆走中の軽トラがいた。スピードは出ていなかったが走り続けている。初めて逆走を見たが、一瞬間がパニックになる。猪苗代湖までは稲穂で少し黄色くなり始めた田んぼ道。中山峠五三〇mを超えてサルビアが咲いた猪苗代湖に出た。花の赤と湖と森と空の青、自然を見て笑顔になる。天気が良いからどこまでもずっと走れるような気持ち良さだ。一一時で



松原湖までは二〇km。今日中にゴールできる。走ってしまおう。磐梯山を正面に見ながら北上する。標高が少し高くなっただけで、田んぼはまだ緑色だ。橋から川を覗くと、川底が錆のように赤く変色していた。色とりどりの日だ。木陰で涼しい松原湖を過ぎると、これから上るぞと思わせる霧閉気になる。一三時一五分に西吾妻スカイバレー、白布峠を上り始める。最後にふさわしい厳しい急坂だ。時速五kmくらいでしか上れない。

とてもきついけど、足を止めなければいい。九十九折を振り返ると雲が同じ高さになり、上ってきた森の中の道路と松原湖が遠くに見えた。疲れが少し消えた気がする。一四時三五分、一四〇四mの白布峠を越えて山形県に入った。下りは一〇%の標示の連続で、ブレーキを常に掛けないと吹っ飛んでいきそう。速いし怖い。上杉神社に寄って、国道一三号で北上する。米沢、高畠、南陽ときて鳥上げ坂が最後の上りだ。もう知っている道だ。上山市に入った時に「ありがとう。」と叫ぼうと思っていたけど、言葉に出したら本当に終

しまうと思うと、声が出なかった。出せなかった。でも、一つの区切りとして言おう。大きく深呼吸して、もう一度。声になった瞬間に体が熱くなり涙が出そうになった。スカイタワーが見えた瞬間、「ああ、帰ってきた」と思えた。三月二日から走って走って走り続けて一七二日目、二二〇六五km、一七時四一分ゴール。飼犬のクローが尻尾を振って迎えてくれて、旅が終わった。ほっとした。一緒に旅を回ったカリン様は雪だるまのように丸かった形も枕にされてペタンコになった。日本縦断の準備を始めてから、走りきるまで本当に楽しかった。東京から沖縄まで五〇時間かけてフェリーで移動した。沖縄で初めて会った人の家に泊まったこと。鹿児島に着いたら四日連続雨で寒くて、心が折れ掛かって泣きそうになった



るやつじゃなかった。」と言われた。旅を終えて、「やりたいことがあるのなら、やらない理由を探さない」「今を楽しむ」この二つは今も大事にしている。この旅を応援してくれた両親、兄弟、友人、旅を思い出させてくれた「月刊かみのやま」、読んでいただいた方々、ありがとうございました。

こと。鳥根県で一週間お腹を壊して苦しんだこと。三重県で実家に松阪牛を送ったこと。敦賀で自転車屋さんに泊まったこと。秋田で旅人が大集結したこと。北海道で地平線を見たこと。日本の色んな地域を走れたこと、色んな人に会えたこと。色んな景色を見たこと。少しずつでも動いていれば日本縦断できること。ひとつひとつが大切な思い出。自分の中で何が変わったかわからないけど、友人から「お前はそんなに喋るやつじゃなかった。」と言われた。旅を終えて、「やりたいことがあるのなら、やらない理由を探さない」「今を楽しむ」この二つは今も大事にしている。この旅を応援してくれた両親、兄弟、友人、旅を思い出させてくれた「月刊かみのやま」、読んでいただいた方々、ありがとうございました。

上山がもっと元気になるように。

私たちは、そんな願いも込めて山形新聞を毎日お届けしております。

～新聞をもっと身近に！～

山形新聞(株) 山形市旅籠町2-5-12
山形メディアタワー6F ☎023-635-6111
上山営業所 上山市弁天2丁目 ☎023-672-0259
上山南営業所 上山市石崎1丁目 ☎023-673-3541

美咲花咲き パーキング

かみのやま温泉駅東口

とても便利です!!
キッチンカーなどの
出店(短期・定期)も、
随時ご相談承ります。
☎673-1895[鈴木]

こんな困りごと ありませんか?



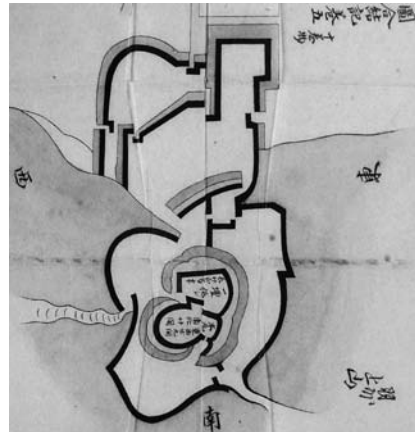
宝石・メカネ・時計
タニエ
上山市石崎2丁目1番33号
☎023-672-0364
携帯:080-3330-6973

わが町再見「城廻り」シリーズ③ 『本丸』3 上山城内の配置①

鎌上 宏
(水岸山観音寺住職)

関ヶ原の戦い後、最上家騒動で上山殿が所領していた旧領は、元和八年(一六二二)九月八日付けで上杉景勝に接収され、翌十月十九日に新領主能見松平重忠氏(遠江国横須賀藩)が宛てがわれて入封し上山藩の治世が始まりました。本年は上山藩立藩四百年の年になります。

最も早い上山城絵図は、「出羽国上山」絵図で松平重忠・重直、土岐頼行・頼隆の名が記されているもので、国立公文書館内文庫、大坂城天守閣にも同様の絵図が残されているとされ信憑性がありそうです。この絵図には東西二十九間(五十二m)、南北二十間(三十六m)と本丸の広さが書き込まれ、ここから新しい城造りが始まります。但し、この絵図は領主三代をふり返っての絵



1 出羽国上山 (土岐初期・後藤耿寄氏贈)

図です。万治二年(一六五九)「月岡城の守護神勧請(三島明神社完成)」、「月岡城の整備は代々の領主により補強され土岐氏により完備」と市史に記述されています。高楯から月岡に建造されはじめた時代を含めて徐々に城造りがなされ城郭が完成したことになります。

ちなみに、幕府に提出した正保城絵図には、本丸の広さは東西四十五間(八十一m)、南北六十一間(百十m)と記載されており、正保年間には城内整備は終わりつつあったと考えられます。

初代能見松平重忠侯時代は城郭建造・交通路着手の藩政を行い、四年弱で寛永三年(一六二六)摂津三田藩に転封、代わって会津藩主蒲生忠郷侯の弟忠知が入部しましたが、忠知は逝去した兄の蒲生家跡目を継いで伊予松山に転封、わずかな期間でした。次いで寛永五年(一六二八)二月に土岐頼行侯が下総相馬から若い土岐頼行侯が入封しました。大藩伊達・上杉家に睨みを利かせる配置です。

江戸初期、というより戦乱収束の元和(一六二〇)平穩が訪れ、領主の入替わ

りがありました。樋音響く国造を示す土岐侯時代初期の絵図が幾枚か残されることになりました。詳しく校合しなければなりません。当時の絵図が残されているのは第一に土岐侯代上山藩が基盤を固める拡張期にあつたこと、第二に全国的に著名な沢庵禪師を迎え誇りに思った気運が横溢したからであろうと思われる。

しかし、初期絵図は能見松平侯、蒲生侯から土岐頼行侯代まで期間にまたがる絵図であること、つまり明確な特定時代の城郭絵図ではなくおよそ七年前後をふり返った後の城郭絵図であること、第二に初期二葉(西に虎口のある

城郭図)を別にする、その後の土岐侯代絵図には「沢庵屋鋪(敷)」が描かれて、沢庵禪師居住の寛永六年(一六二九)秋頃、及びそれ以降の絵図であることです。又、注目すべきは土岐頼行時代の絵図は天守櫓位置に若干の異同があります(これら絵図も後年ふり返っての描画、又は写しです)。

本丸天守櫓は(1)幕命による提出「出羽国内上山絵図」(正保元年一六四四、重要文化財)と同位置、(2)あるいは追手門から左折した地の天守櫓、(3)また本丸高台の東南角の天守櫓位置、と幾種類かの絵図があります。更に最も興味深いのは「正保上山絵

図」天守櫓が二層、その他の城絵図がすべて三層櫓を画いていることです。提出した正保絵図が權威あるために天守は二層櫓ではないかと考える向きもあります。地元に残された絵図が三層天守櫓なので、上山城(月岡城)の天守櫓は三層楼とするのが正しいと思われま

す。次回から、より詳しく城内御館の配置を見ていきたいと思います。

参考資料:「市史・上」、「見聞随筆付図集」、上山城城絵図企画展示資料、及び図録「上山城絵図と瓦」によりました。絵図は二〇二二・一月号絵図再掲。上が北。

蟹仙洞 代々仙人

開館 9:00~17:00
休館日: 毎週火曜日
山市矢来4丁目 023-672-0155

生誕140年第48回齋藤茂吉記念全国大会
行事ご参加受付中!

・開催日: 5月15日(日)
・記念講演「ニュース映画を観る齋藤茂吉」
・講師: 吉川宏志 **参加無料**
※締切: 4月19日(火)消印有効
※詳細はお問合わせください
※新型コロナウイルス対策のため「茂吉ふるさと巡り」等は今回実施いたしません

特別展 **新収蔵資料展**
会期: 3月31日(木)まで
休館日: 水曜日
齋藤茂吉記念館 北町宇奈天 672-7227

企画展 「上山城のひなまつり」

■会期 3月30日(水)まで
9:00~17:15(最終入館16:45)
※会期中木曜日休館

■料金 入館料

体験教室「ひな人形作り」
■日時 3月6日(日) 10:00~12:00・13:00~15:00
■定員 午前・午後各10名(予約制)
■料金 入館料+1,200円

お問合わせ・お申し込み **上山城**
山市元城内 023-673-3660

猫と歩けば……② うめっちぎり

○月△日

洗濯をしようと洗濯機の前に立つ。私に付いて来ていたのか、トオル（猫）が脱水槽の蓋の上に乗る前脚を揃えちよこんと座る。「ボクと遊ぼう」って言ってるような顔。「遊んであげたいけど洗濯しなきゃあね」と言葉をかけ、トオルに覆いかぶさり抱きしめる。頭のあたりに顎をのせてグリグリ。うん、うん、気持ちいい。

「またもや猫の魔力にやられて、猫好き変態モードにスイッチが入ってしまった。」トオルはわいのもんやで、今日はトオルのストーカーになったわ〜。いつもの如く大阪弁の嫌らしいオッサンみたいになる私。トオルは迷惑がっているのだけど私に服従。耐えてくれているんだよ。そこがまた可愛



いんだなあ。しつこくすると反撃してくる猫もいるけど、トオルは大丈夫。何たって今まで飼ってきた猫のなかで、一番のおもてなし上手だもんね。私に付き合ってくれているトオルを見

て考えてしまった。これって私の支配欲？でもなあ、仰向けに寝ているトオルのお腹に顔をスリスリ埋めるときは下僕化しているし、一匹の猫を相手に支配と服従を行き来するとは何ぞやなんだよね。

何となく分かってきましたよ。これは私の身体動作が大きく関わっているんじゃないかな。上から覆いかぶさるは完全なるマウント。トオルのお腹に顔をスリスリは、私がひざまづいているので完全なる服従ってこと。身体動作による感情の変化って、思っている以上に大きいんだと思う。異種の生き物との触れ合いで、支配と服従を行き来できる関係は、ちょっとシニールで妖しい……

トオルは熱心に洗濯槽を覗き始めた。水の中を回る洗濯物が、お魚に見えているんだろな。

○月△日

家にいるときはYBCラジオの人生相談を忘れない限り聴いている。日常化しているから殆んど忘れることは無いのだけどね。昨年の相談で一番印象に残っているのを時々思い出して、ふふとニヤついている。

相談者は澁刺とした七十代女性で、悩みは夫の浮気。夫が合唱サークルに入会、そこで知り合った未亡人と付き合い合っているとのこと。未亡人は相談者より若いのかと思いきや、夫と同年齢で八十間近。お茶を飲んでお喋りするぐら

いの付き合いであることは間違いないのだが、なぜか夫の上着のポケットに、様々な事象を予防するための用具が入っていた。無用の物なのに、わざわざ買って持っている夫の心理が、気持ち悪く理解出来ない。どのように考えれば良いのでしょうか？というような内容だった。

これって単なる浮気って言うていいのかな。ものすごく奥深くて微妙な問題ですよ。体の機能が衰えた老人のりビドリーじゃないですか。予防具を見つけてしまった奥方が複雑な想いでいることは重々分かるのだけど、私は夫君の切ない浪漫に老いの豊かさを感じ

て、ほのほのしちゃうんだなあ。予防具を忍ばせた上着のポケットの中は、生きようとするエネルギーに満ち溢れている。そんなイメージで脚本を書きドラマに仕立て上げれば、山田太一風の作品になりそうだ。

老人のりビドリーに対して人生相談の回答がどのようなものだったのか、とんと抜けてしまい覚えていない。私が回答者なら「川端康成の『眠れる美女』を読んでごらんさい」と言うだろう。そして「主人公の江口老人より、貴女のご主人はとても健全であられますよ」とね。

「写経会」：毎月第4土曜日9時から
「ご詠歌会」：毎月第1水曜日1時30分から

最上三十三観音第十番
上山三十三観音第一番

水岸山麓眼院 **観音寺**

山形県上市市十日町9-29 電話023-672-1421

**吉井内科胃腸科
クリニック**

診療時間【木曜日休診】
月・火・水・金・土
A.M. 8:30 - 12:00
P.M. 2:00 - 6:00

院長 **吉井 英一**
023-673-7515
上市市金生東一丁目10-15

**入学記念写真
前撮りキャンペーン**

3月撮影1,000円

合計金額より割引中!

高橋写真館

SINCE 1888 TAKAHASHI PHOTO STUDIO
TEL 023-672-0541 完全予約制
営業時間 9:00~18:00 定休日 火曜日
<http://takahashi-photo.net/>
上市市十日町8-5 駐車場完備

随筆⑨ 私の本棚 (文庫本カバーについて)

新寺 登
(上山中部短歌会会員)

ようで、上品さが漂っていたように思えてならない。

私が十代の頃の文庫本は、今の様なカラーのカバーが付いているのはごくわずかしかなかった。ジャンル別に色別された帯にグラシン紙の半透明のカバーが付いている質素なものであった。現在は各社すべてカラーのカバーである。ただ気になるのが、デザインと色使いである。昔に比べて相当派手な色使いとなり、デザインが幼稚になってきた様に思われる。

たとえば、『赤と黒』をご覧いただきたい。

旧版は赤、黒、銀、の三色刷りで、題名が象徴されている軍人と聖職者が上手に表現されているように思われる。新版はどこか漫画的である。昔のカバー絵は一幅の絵を見る



次は『異邦人』の旧版。青い空と石造りの家と狭い路地。北アフリカ



の気候風土が上手く表れている。主人公の殺人動機の「太陽が眩しかったから」との言葉に符合している様に思われる。二十歳の頃は、実存、不条理、自己疎外などの言葉がまだ流行っていた。文庫売り場にはカミュ、ハイデガー、マルクス等が幅を利かせていた。

『山のかなたに』は石坂洋次郎の青春小説である。映画やテレビ化されて歌も出た。松原智恵子と舟木一夫



昭和 29 年発行
新潮文庫

最後に、最近のもので、ちょっとびっくりしたのが角川文庫の『乱れ髪』である。ついにアニメが登場した。紺の着物を着た少女の眼が怪しく光る。



平成 29 年発行
角川文庫

の文庫売り場は、昔は見られなかった、平積み、面置き、によってカバーが一層目に付く。ネオン街のようである。

日に焼けし文庫を開けば中学の仲間が浮かぶ『青い山脈』(登)

かつて『赤と黒』は新潮文庫の小林正訳で読んだが、このたび大岡昇平訳で少しずつ読み始めている。異なる翻訳で読むのも読書の楽しみの一つである。

カバーによって作品の印象までが大きく変わるような気がする。今

心もかるいよね、春。



ソフィア
SOPHIA
tel&fax. 023-673-0517
上山市南町2-7

泡エステで10歳、若返りませんか!

ムース♥デコ

- ニキビ・吹き出物
- 美白・リフトアップ
- 毛穴の黒ずみ
- シミ・小じわ
- 手の荒れ
- アトピーなど

特許取得
原点に戻った新発想
他店にはないメニュー!

アライ美容院
ご予約: 673-3002

手打たから亭



上山市金生東二丁目
023・673・3103

「明日の早朝ドライブに付き合ってくれない?」
 という連絡が来たのは夜、風呂上がりに髪を乾かしている時だった。Kからの連絡はいつも突飛だ。突拍子無し子ちゃん。けどそれが面白くて素敵なのだ。

「何時に待ち合わせよう?」
 「四時かな!」
 「四時!?どこまで行くんだい?」
 「海に行きたくて。」
 「…どこの海だい?」
 「決まったら言う。」
 「むちゃくちゃだ…。いいじゃないか。乗りましょう。栗川稲荷様で待ち合わせをした。」
 翌日。真つ暗な朝を、てくてく歩

く。神社から少し離れたところに車を見つけた。二年ぶりの再会だというのに、とんとんとん!と進む彼女の言葉たち。そうだ、このリズムだ。

車が走りだす。僕たちの他には一台も無い。非日常が足元を包み始めていた。カチカチと音が鳴って、いつの間にか一三号線から高速へ。
 「…そろそろ行き先を聞いてもいいだろうか。」
 「あ、ごめん。七ヶ浜。」

浜に着く頃には明るくなっていった。堤防に登ると信じられないくらい寒くて、太陽が見えないの

眩しいのが不思議だった。あまりの寒さになんとか笑えてきて、手を繋ぎながら歩いた。やがて辺りが赤く染まり始めて、ゆっくりゆっくり海面に帯が伸びてゆく。青と白と鴉色と、刺すような黄と強い赤。正面に受けていると腹の辺りがじんわり温かかった。日の出を見るのは初めてだった。

「モネの日出と全然ちがう…。」
 僕がぼそりとそう呟くと、Kは水平線を見つめたまま笑った。実を言うと、この目で見るまでは少し怖かった。いつだったか、Oさん(十一月号参照)が送ってくれた朝焼けの海の写真を鮮明に思い出してしまいそうだったから。あの写真の方がモネ

の優しい色に近かった。僕がまともに顔を見て話せるようにならないまま、彼女は引越してしまった。海のそばらしい。淡いグラデーシヨンの中に立つOさんの指先も、空と同じような鴉色で、景色ごと凍ってしまふんじゃないかと思うほど綺麗だった。うっかり泣いてしまふくらいにね。彼女がどんな表情で写っていたかは全く思い出せない。見ることができなかつたからだ。ただ、そこにある色がとても綺麗で、綺麗で。彼女もこんなに寒い中で朝焼け

を見たのか…。そんなことを考えている僕の今は今、Kに握られている。これは…もしもKが恋人だったら浮気になってしまふのだろうか…。なんだか僕はろくでなしになつてしまった気分だよ。僕が責められないのはきつと、僕がKと同じ形をしているからだろうね。

それにしても突拍子が無いのはいつものことだが、今回は輪をかけて、ではないか?何かあったのだろうか。そうなのだとしても、何も訊かないことにした。一緒に見るもの

を面白がって、美味しいものを食べ、Kが好きかな音楽と一緒に聴く。それだけでいい。気分転換がしたい時に、思い出して使ってくれるくらいいい。

躊躇なく触れてくれる、僕と同じくらい小さな友人たちの手が、この手の中に留まり続けることはきつと無いから。どうか君が明日、元気に出かけられますように。悲しいことがありませんように。僕以外の休める「場所」がありますように。

いも煮
 2~3人前
 (6コ入り)
 ¥6,600
 (税込)

地元
 「上山」の
 お土産に!!

丸松物産株式会社
 山形工場 上市市新北浦3番地
 TEL.023-673-5511
 http://www.marumatsu-mb.co.jp

手づくり洋食を
 ご家族連れでどうぞ

レストラン
 駅東口より徒歩5分

イビサ 023-673-3034
 営業時間 11:30~21:00 定休: 木・日・祝
 (日・祝) 11:30~21:00 (祝除く)

ご商談・ご宴会に
 二階宴会場をご利用下さい

割り子そば

石臼挽きそば
みつひろ
 上市市新湯6-34
 TEL.672-3815

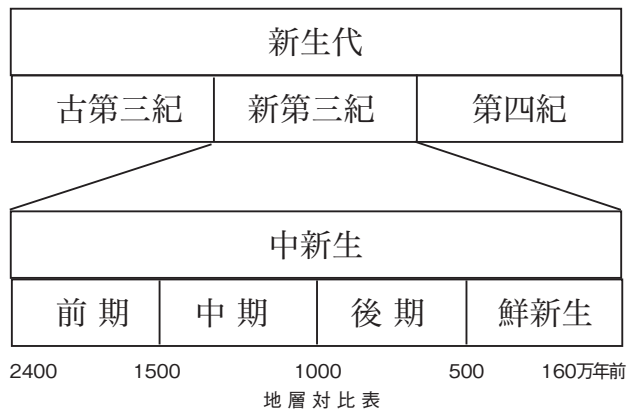
いったい何だろう？ 榑下台地からの出土「団塊」

齋藤昌宏
(上山市在住)

(下) 承前

ところで、地質学の分野でいう「中新生後期(約一千万年から八百万年前)」とは、日本列島の内部は一千万年前あたりから、それまでの引張りから、再び大陸側へ押されるような圧縮の力が強まり出したと考えられています。

これによって日本列島は隆起し出し、奥羽山脈も形成されていきました。日本列島付近の深かったは次第に浅い環境へと変わり、浅海では様々な生物が栄えました。



奥羽山脈は中新生のおわりには陸化しており、この頃に山脈の両翼部の陸上では、カルデラを形成するような火山活動がいくつも発生しました。と、蔵王山の総称、熊野岳・地藏山・刈田岳も含めて長澤一雄氏が述べている(注1)。

当市の『上山市史・上巻、別巻上』の編には、概説として、「上山市の大部分の地質は、新生第系に属する火崗閃緑岩とこれを基盤としてその

上に堆積した新第三紀層、この新第三紀層とほぼ同時代に出現した火山岩類、第四期に入って噴出した蔵王火山の噴出物および沖積層が分布している(略)萱平川層・上山層・赤山層・呑岡山層」と、岩石から見た記載なのである。

今回の出土の「団塊」を割ると、海底に存在していた当時の生物が化石となつている可能性は十分に考えられると思う。当市の地質の成り立ちにとっては貴重な発見でもあ

り初見でもある。

したがって、今後の発刊書には、その成り立ちとして「新第三紀中新生後期」の項目に「団塊」の一文を加えて頂きたい。

(注1)

長澤一雄『日本海の生いたち』『日本海と山形―その生いたち、自然と文化を考える』山形県立博物館・一九九〇年刊

◆おかげさまで売れています！

猫の手マドレーヌ
「わんわんドーナツ」
「じっぽファイナンシェ」

十三屋本店

上山城登り口 西六七一〇一六九



まちcafe2011

どんだん焼き
チーズ入りどんだん焼き
男爵ブレンド
ドリンク各種

営業時間 11:00~
場所 荘内銀行上山支店さん向かい
駐車場は市営二日町駐車場をご利用下さい
NPO法人 上山まちづくり塾

『かせ鳥』の説明をさせていただくと、上山市で江戸時代の初期から五穀豊穡、商売繁盛などを祈って催される伝統ある民族行事である。

毎年二月頃に開催され、『ケンダイ』と呼ばれる藁の衣装を身に纏った神の化身とされるかせ鳥が街中を練り歩き、見物客はケンダイの頭部にタオルを巻く、祝い水をかける、抜け落ちた藁を縁起物として持ち帰る、などして祭りに参加する奇祭である。

恥ずかしながら生まれてこのかた三十年間上山市に根城を構える私であるが、実際のケンダイを拝見するのは初めての経験であった。私の上

司の言うところでは全国的にも参加を希望する方が多く、外国人観光客の参加もあり、なかなか身につけられないものではないとのことである。そんなありがたい衣装とはつゆ知らず、車内が藁まみれになって不機嫌になってしまったことをこの場を借りて謝罪させていただきたい。機会があればぜひ、本番のかせ鳥にも参加させていただきたい次第である。

そうして『かみのやま温泉観光案内所』さんのご好意でかせ鳥の衣装一式をお貸し頂き、真夏に先輩の自宅でかせ鳥を着てDJプレイをする、というなんとも不思議な状態が出来上がったのであった。

しかしこのかせ鳥、頭からすっぽりと被る形になっており、どう頑張っても一人で着用することは不可能な代物であったため、三人がかりでやっと装備することができた。気温も手伝ってか藁の中は思いの外蒸し暑く、もともと皮膚が弱い私は藁にかぶれてしまい、その後の数日間は何文字通り、かせ鳥の歴史を肌で感じるようになった。撮影は倉庫、畑、か

みのやま市役所の三箇所で行い、私はほとんどの時間、ケンダイを身につけてヘンテコなポーズをとったりしてこどもたちと遊んでいるだけの一日であったが、監督を務めた竹馬の友は相当に頭を悩ませている様子

であった。そんなこんなで早朝に集合したはずが、解散する頃には日も傾いて夕食時になっていたのがある。

無事に動画の提出を済ませて数日後、ありがたいことに上山市の最優秀賞に選んでいただき、いかにもクリエーターですよと言わんばかりの顔をして市役所で表彰された模様が市報に掲載され、職場でもちよっとした有名人気分を味わった。その後はTVの取材の依頼があり、女優の方



を目の前にニヤニヤしながらの撮影を済ませ、残すは放送日を待つのみとなった。

そうして放送当日、残念ながら受賞は叶わなかったが、地元の文化に触れ、久しぶりに地元の友人と顔を突き合わせ、コロナ禍の中ではあったが大変貴重な経験をさせてもらった。機会があればぜひ、DJかせどりとして地域復興に尽力して行きたい所存である。

山形県知事許可「高度管理医療機器等販売業許可証」取得店
最適な補聴器。ブラピンモライト。

デジタル補聴器
耳掛型
“無料試聴貸出”中!

耳あな型片耳価格 138,000円
ポリウムコントロール付 148,000円(片耳・非課税) 248,000円(両耳・非課税)

エフパルク
F.parc 佐藤
計測器 補聴器
〒999-3143 上山市二日町9-1(矢来橋ギワ)
TEL.023-672-0207

いなげ花店

上山市矢来一丁目3-18
(かみのやま温泉駅前)

駅前本店 TEL.672-0157
FAX.672-6760
ヤマザワ店 TEL.673-1343

くだものうつわ
各種ご贈答にも最適

上山市金瓶水上6-2
Phone: 023-672-5861

新連載・竹のようになやかに

大武芳子
(上山市出身)

父の一生―六十四年間―は、短く悲しいものであったが、それを平然と乗り越え、前向きに生きたことに魂が揺さぶられる。

私の息子が中学一年の時に、国語の宿題に「尊敬する人」を一人選んで伝記を書く事になっていた。しかも、「一番身近な人」という条件がついていた。息子は迷うことなく祖父への鎮魂歌を、祖母に何日もかけて訊きに行き、一冊の本にした。手作りの本「鎮魂歌」をもとに稿をすすめたい。

「鎮魂歌」は四百字詰め原稿用紙二十五枚の大作であり、中学一年生としてはおおいにがんばった。

前書き、幼年期、青年期、そしてガン、あとがき。形式も調えられたものであった。

昭和五十一年、大武重雄は没した。山形市で生まれ、上山市の浄光寺に眠っている。墓は重雄が貞次郎のためにつくったものだった。真正面に蔵王山脈が眺められる最高の場所である。

私の「神のやま・月秀上人のものがたり」でも書いたが、浄光寺はナゾめいている寺である。私が小学校に入る前までは、墓地は本堂を中心にして左右に分かれており、右側は大武の墓の方、私たちの遊び場だった。

なぜ生前、重雄は大武↓沢村↓大久保↓大武と三度名前を変えなければならなかったのか。六人の子ともたちは知らなかった。



挿画：村上百花

捕るのがうまく、川に行った帰りには、手に掴めるだけ掴んで帰ってくるのがしばしばであった。

しかし、孫の書いた「鎮魂歌」によってその「ナゾ」も恨み節にならず、強く生きるステップになっていたことが分かった。母喜美の愛に支えられていたことが発見だった。

(1) 幼年期

明治の時代が幕を閉じようとしている四十四年十月二十三日、山形の上町でしげおは鍛冶屋の三男として生まれた。六人兄弟の五番目であった。この年、日本では関税の自主権を回復し、中国では辛亥革命が起こった。アムンゼンが南極を探検したのもこの年であった。

しげおの父貞次郎はとても腕のいい鍛冶屋だった。だから朝早く起きて、夜遅くまで仕事をしないと終わらないほど注文が多かった。しげおの母さだは気持の大きい人で、頭もよく、芝居が大好きであった。さだの兄妹に役者がいて、沢村一座の者だったという話がある。だから芝居が好きだったのかも知れない。間違はなくその血を受け継いでいる私は仮面劇や劇などのオーディションを受けている。六十五歳のばばになってからだ。

しげおは小学校に入るまでは何の苦勞もなく過ごした。毎日毎日、河童の如く川に泳ぎに行った。といっても魚を捕まえて、潜りっこをするのだが。大正時代の川は今の汚い川と違って水がきれいだったし、幅が広く深かった。しげおはトンボを小学校に入学したが、今まで朝から夕方まで好きな遊びをして一日を過ごしていたしげおにとって、小学校はつまらなかった。だから学校が終わるとすぐ数人の友だちと山形城のお堀に急行した。もちろん水遊びの為だ。素っ裸になって石垣の上から飛び降りる。おちんをしつかり押えていないと痛い。水しぶきが爆弾でも落としたかのように高く上がる。水から這い上がってまた石垣に登る。そしてまた飛び降りる。彼らはこれを何度も飽きずに日が暮れるまで繰り返すのだった。山形城には当時軍隊がいた。兵隊さんはしげおたちの憧れだった。しげおらは学生帽に茶色の帯を巻き、日本刀と鉄砲を木を削ってつくり、日曜日には朝早くから兵隊ごっこをした。辺りが朝日で明るくなると、町内にはたどたどしい起床ラッパが鳴りわたる。このラッパはしげおの友だちが山形城跡に捨ててあったものを拾ってきたものだった。

幸ファーム いのいの広場

ゆうゆう「遊々」

3月のイベント 上山市権現堂 98

■13日(日) 10時〜「藤工芸教室」

参加料 一人一、五〇〇円
参加申し込み 10日(木)まで

■26日(土) 10時〜「そば打ち体験」

参加料 一人一、五〇〇円
参加申し込み 24日(木)まで

出来たそばは
持ち帰りになります

申し込みは
TEL/FAX 023-672-2078
090-5844-9755

ワイヤーカット加工による金型部品加工
金型・治工具設計製作

有限会社

山上企画

〒999-3122 上山市仙石1263番地5号
TEL.(023) 673-1114 FAX.(023) 673-1115

有限会社

大崎金型

〒981-3604 宮城県黒川郡大崎村駒場字珍右衛門橋 3-162
TEL.(022) 345-5378 FAX.(022) 345-5378

りんごで育てた豚肉を食べながら

佐藤藤三郎
(著述業・農業)

白鷹町の浅立で米つくりと和牛の肥

育をやっている菊地君から自給用に飼育した豚肉を戴いた。和牛の肥育が主な仕事だが、自給用に豚を三頭飼っているとのことだ。昔、といっても私が三十歳、といえ五十年ほど前の事になるが、その頃にはそのようにして数頭の豚を飼っている農家はいくらもあったのだが、農業経営が大規模化されるようになってからはそうした農家はみられなくなった。何とも無くムシヤクシヤとものを食らう私のような奴を「豚のようだ」と言われていたが、豚は穀類の屑物だけでなく、野菜や果物などの屑物、ほかに人間が食べ残した残滓といったようなもので飼育するものであった。また五十年前に中国を訪れた時には人間の大便も食べさせているのさえ目にした。つまり豚とはそのようにして飼育する家畜

だったのである。

それが外国から穀物が安く輸入されるようになってから立派な穀物で飼育され、豚肉も多くの庶民がたやすく買って食べられるようになった。したがって自給用に豚を飼っている人などはすっかり見られなくなっている。

そうしたなかで菊地君は三頭の豚を自給用に飼っているというのだから珍しい。といっても残滓のようなものを活用しているのは農家の仲間でありんごを栽培している人の商品にならないものを餌にして食べさせているとのことだ、それだけでも他の豚肉とは違うから、と言って届けてくれたのである。

温泉旅館やホテル、ほか割烹、レストランなどでは残滓は沢山出るだろうけれど、そうしたものを豚や鶏などの餌にすればいいのと思うのだが、今はその

ような事を行っているのを見た事がな

い。私が子どもの頃は鍋や釜、茶碗や皿を洗った水、そのほか米をといだ水、それらを合わせて「ゾー水」と言って家畜に与えていたのだ。

こうしてまで家畜に養分を大事に活用して食わせていたのだが、現在はそんなことは全く見られない。金をかけて捨ててさえいる。つまり手をかけるよりも買った方が安価であって得であり合理的であるからだ。そして現実、吾輩もその「得」の暮しに流されている。

広く世界を見れば腹一杯に食べられない人もいる、といったことを見聞する度、私は子どもの頃の生活が頭に蘇るのである。

友人である作家の山下惣一君は「食糧は足りないところに流れているのではなくて、金のあるところに流れている」

と巧いことばで表現しているが、それは「事実」であり、誰だって「それでいい」などとは思わない。そして私は菊地君にならって豚を飼おうか、あるいは鶏でも飼って屑米やミミズを食わせて生ませた卵を食べようかなどと考え悶えるのだが体力がそれさえ出来なく衰えているのが口惜しくてならなくなる。

でありながら、わが家の暮らしも半世紀前とは違って都市の人たちとあまり変わらないものになっている。風呂は灯油で沸かし、トイレは水洗、車は一人一台どころかトラックと乗用車と二台を持ち、電気コタツに入ってテレビ

をみながら冬を送り、春になれば山菜を食べ、夏になれば庭のそばの畑でつくった穫れたての野菜を食べての暮らした。だから見ようによっては都市の勤労者にも優るとも劣らない生活をしている。「なのに」というのが私のこの世に対する問いかけである。つまり「文明」とやらは山間の村にも届き渡ってきているのにもかかわらず「住む人」がいなくなっているからだ。となればその「文明」とやらにはどこがおかしさがあり、欠落しているものが何であるのかを毎日頭をかかえ探しているのだがなかなか見つからない。だが、ひとつわかるのは今の文明というものは人

間の真の仕合せ、そして「命」を中心にしているものではなくて、「お金」による仕合せを言っているということだ。高層ビルに重なるように人間を都会に集め、そこに住ませ、村には老人だけを残している。これを真の文明社会といえる筈はない。野に咲く花をみながらゆつくりと人が歩くことのできることを文明社会と言えるのではないか。野に咲く花に目を向ける事もできないほどに急がしく、車で人が突っ走って働かされている。これでいいのか、と菊地君から戴いたりんごで育てた豚の肉を食べながら静かにちびりちびりと晩酌をしながら思いを巡らしている。

■「刈田岳めぐりして山スキー」 2022.3

ライザスキー場から第三リフトまでリフトを乗り継ぎ、そこからスキーの板にシールを貼った山スキーで刈田岳山頂を目指しました。坂を登り易くする為かかたが上がる仕掛けの山スキーはつま先に体重を掛けて登ります。この絵は途中の「御田の神」あたりのスケッチで、周囲はこうした広大な雪

原がひろがるだけで正面に見える山は中丸森山です。汗をかき何回か休憩していると真つ青な空に国際線の飛行機雲が白くきれいな見え(来て良かった)としみじみ思いました。刈田嶺神社まで約二時間で到着して食事を摂り、あとはシールを外して一気にスキー場に到着してしまふ。三月の天気の良い日にこんな雪山を堪能してみてください。私はよく非日常のこんな別世界で、心の洗濯をしたものです。 竹内敏夫

上山市観光課 〇三(六七)一〇一一
 上山市観光協会の 〇三(六七)〇八三九
 かみのやま温泉旅館の 〇三(六七)一四五六
 上山市立図書館 〇三(六七)〇八五〇

上山城郷土資料館 〇三(六七)三三六六
 JRかみのやま温泉駅 〇五〇(〇一)一六〇〇
 蔵王坊平観光協議会 〇三(六七)二二一一
 蔵王猿倉観光協議会 〇三(六七)二二一一

山交ハイヤー 〇三(六七)一六六一
 観光タクシー 〇三(六七)一三三三
 上山タクシー 〇三(六七)一三三三
 上山レンタカー 〇三(六七)四一九〇

かみのやま温泉駅東口

蟹仙洞 ●

1F 美容室 シュシュ ●

2F 成蹊学習塾 ●

ゲオ ●

ツルハ ●



抗がん剤治療でお悩みのあなたへ

医療用ウィッグの購入支援及び助成金が受けられます。

美容室 シュシュ Chou Chou

<http://chouchou6736030.blog.fc2.com>

上山市矢来4-8-1 ☎673-6030

いさながて、大さなわ

ラベルパワー SHINWA LABEL



株式会社 進和ラベル印刷

〒999-3104 上山市蔵王の森10番地
TEL (023) 672-7577

東京駅5分、家族経営の温かな料理店

ママとパパ

上山中学校昭和40年度卒業
 上山小学校昭和37年度卒業

さて、誰でしょう？
 変な頭が特徴です。

中央区日本橋2-2-15 日本橋テイトビル2階
 ☎03-3274-1797 上京の折、ぜひ来店ください。

栗川稲荷神社


上山市松山一―五二鎮座
 社務所 ☎〇三(六七)三三三〇

御祭神 稲倉魂命
 元旦祭 一月一日
 例大祭 四月二十三日
 月例祭 二十三日

由緒沿革
 栗川稲荷神社は備中国庭瀬の城主松平信通公が城守護神として奉祀され、厚く信仰されてきたお社であります。

元禄十年九月出羽国上山に国替を命ぜられ、その後松平家の守護神として城内に社殿を造り固い信仰を捧げたのであります。

大政奉還の後は現在地の松山高台に勧請鎮座を致し、年を重ねる毎に県内はもちろん県外よりの多くの参拝者を迎えるようになりました。



月刊『かみのやま』第251号 発行日 2022年3月1日
 編集・制作/有限会社スタジオ・ワン 発行/上山を元気にする会
 〒999-3145 上山市河崎2-4-23 ☎023-672-8581 FAX.023-672-8582
 発行人/阿部檀 編集人/岩井哲 題字/故木村蔵六 編集協力/鎌上宏

窮屈な休憩室◆上山藩の幕末54 編集子
 庄内藩処分はほんとうに寛大だったのか？

戊辰戦争後、西郷隆盛の断で行われた庄内藩に対する処分は寛大なものであったというのが通説になっている。だが筆者は必ずしもそうとは考えない。なぜなら次のような経過があったことを忘れてはならないからである。

莫大な戦費によって疲弊した新政府は財源を確保すべく、まず最後まで庄内藩への戦争協力を惜しまなかった豪商本問家に対する仕置きを断行している。時の大蔵卿大隈重信に呼び出され、本問家では庄内藩の降伏直後(月日は不明、まずは5万両の献金を申し付けられ、これを納付している。つまり、新政府はまずもって金銭の問題から庄内藩の戦後処理に入っていた)ことを重視して行く必要があるのだ。つづいて明治元年(1868)12月、新政府から庄内藩(酒井家)の会津若松への転封が命じられるが、なんとか家臣団と領民による反対運動が起りそれは免れた。資料がなく分らないが、反対運動が何事もなく新政府軍に認められるような状況とは考えにくく、この過程にも当然金銭のやりとりがあったと考えた方がむしろ自然な気がする。さらに翌年の明治2年(1869)6月、今度は磐城平へへの転封の沙汰が言い渡されたのである。しかしここで庄内藩は70万両の献金を条件に転封を免れようと動いている。つまり新政府の目的が金銭であることを見抜いたうえで、時宜を得た提案であったようにも思えてくる。

もちろん戊辰戦争の直後で、藩には金がなく、領内で基金を募り、土分の者は財産を売り8万7千両、鶴岡の町民1万8千両、酒田町民9千7百両、本問家では先の5万両とは別にさらに5万両を都合し引き渡したとされている。もちろん藩主であった酒井家でも先祖代々の宝物などを売ってようやく政府から要求された金額の半分、つまり35万両を明治政府に納め、最終的に転封を免れたというのである。

ここで参考までに他藩の受けた処分をあげてみると、仙台藩や米沢藩といった同盟の主軸をなした藩は減封と責任者の処刑(斬首もしくは切腹。磐城平藩は新政府に7万両を献納しての所領安堵。相馬(中村)藩は1万両で所領安堵という具合であった。つまり庄内藩が納めた35万両(しかもこの額は表立ったものは際立った印象を受ける)。

このように新政府(西郷隆盛)が庄内藩に対して比較的寛大な態度で接したと言われている背景には、当時全国の家臣の中でもずば抜けた力を有していた本問家の財産(経済力)があったことは明らかで、見てきたように、公にされている額だけでも本問家が新政府に納めた金額はなんと都合10万両にも及んでいるのである。そして会津若松への転封が撤回された事情などを考慮すると、これがすべてであったとはとても考えにくい状況だったのである。

まさしく「本問様には及びはせぬが、せめてなりたや殿様に……」と俗語にまで歌われる本問家であった。



親付けの名マシメン

丸松物産株式会社

山形工場 山形県上山市新北浦3番地 TEL:023-673-5511
 東京本社 東京都世田谷区代田1-47-2 TEL:03-3419-1611
<http://www.marumatsu-mb.co.jp>

こんにやく懐石膳

お客様の接待、ご会合等にもご利用ください。



各種ギフト・お土産品もございます
(発送も承っております)

楠下宿



株式会社 丹野こんにやく
こんにやく番所

フリーダイヤル 0120-08-2351
〒999-3225 山形県上市市榎下1233-2
TEL (023) 674-2351
FAX (023) 674-2515

なつかしい和 (なごみ) の空間

かみのやま温泉葉山 彩花亭

時代屋
さいかてい
じだいや

☎ (023) 672-2451
<http://saikatei-jidaiya.jp>

上山温泉・葉山

名月荘

MEIGETUSOU

〒999-3242 上市市葉山5-50
TEL.023-672-0330(代表)
フリーダイヤル 0120-72-0330

月岡城址の宿

山形県かみのやま温泉



山形県 かみのやま温泉

仙溪園 月岡ホテル

〒999-3141 山形県上市市新湯1-33
TEL.023-672-1212(代)

かみのやま温泉 葉山



電話 023-672-0295
FAX 023-672-0425

ホームページ <http://www.hashimotoya.com>